

教育研究業績書

所属	職名	氏名	学位
総合生活学科	講師	吉村千恵	地域研究博士・修士/社会福祉学修士

I 教育活動

教育実践上の主な業績	年月日	概要
(1)教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む) 災害と福祉、家族の人類学など 社会福祉概論・介護概論/実践・社会保障など	平成25年～平成30年 令和4年～現在	「家族の人類学」の授業では、家族のあり方を人類学を中心に報告された家族の様子を文化理解も合わせて展開した。災害と福祉については、災害時要支援者の社会的課題も含めて授業を行った。 福祉関係の授業では、世界の障害者の動向、LGBTQ+、子ども、年金問題など身近な問題も織り交ぜながら授業を行う。
(2)作成した教科書・教材・参考書 「障害学生等の災害時対応ハンドブック」監修 吉村千恵 立命館大学障害学生支援室作成	平成31年3月	障害をもつ学生の自立支援と災害時緊急対応の個別マニュアル作成のワークショップを実施した。その後、基本的な部分などを一冊のハンドブックとして作成した
(3)教育方法・教育実践に関する発表、講演等 1, The National Institute of Development Administration (NIDA[タイ、バンコク特別市])にて大学院生を対象とする社会政策論の特別講義。 「kaan prakansangkhom samrap khonpikaan thii yiphun kap thai:phua khunnaphapchiiwit khong khonpikaan (タイと日本の障害者に関する社会保障政策:障害者の生活の質の向上にむけて)」 2.「障害のある大学生と災害時対応の課題」	2009/1/20 2019/9/21	対象者:主に社会政策論履修の大学院生(修士・博士過程の双方を含む) 講義形式で、一コマ1時間半の授業を3コマ実施。招聘講師として日本とタイの社会保障体制について講義を行った。 日本・タイの社会保障体制の違いを、制度や家族体制の面から講義した。理論的には福祉国家論の枠組みを説明し、制度と家族が国家のなかで担っている役割、地域の状況などについて日タイの比較などを行った。 学生(生徒)が学内にいる時間帯に災害が発生した際、障害をもつ学生(生徒)の避難行動をどのようにしてとるのかを、障害を持つ当事者学生とともに事前に考えておくことの意義等について論じた。まずは、障害学生を中心に教員や職員などが共にワークショップを行い、課題の洗い出し及び避難計画をたて、その後全員で数回にわたり避難実践を行う事例を挙げた。以上を通じて障害学生の自立や学内のバリアフリー状況や合理的配慮が検討される点を挙げた。
(4)その他教育活動上特記すべき事項 社会福祉分野や東南アジア地域におけるボランティア活動の実践・マネジメント等	平成8年～現在まで	特に障害者・子ども・女性・日本における外国人問題などのボランティア活動及び、東南アジア地域におけるNGOやボランティア活動を実践/マネジメントを行っている

II 研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、発表雑誌(及び巻、号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	当頁
(著書) 「ケアニーズがつなぐ人と地域 -タイ障害者の生活実践からみるケアをめぐる公共圏のひろがり-」『人間圏の再構築-熱帯社会の潜在力-』第3章	単著	2012/3/16	京都大学学術出版会		

「タイの障害者立法の制定過程(1991-2007年)ー障害当事者の役割を中心にー」『タイの立法過程 国民の政治参加への模索』第五章	単著	2012/3/16	アジア経済研究所		
「タイの女性障害者ー当事者運動とエンパワメントー」『アジア諸国の女性障害者と複合差別ー人権確立の観点からー』	単著	2017/3/15	アジア経済研究所		
(論文)					
「ケアの実践と『障害』のゆらぎータイ障害者の生活実践におけるケアとコミュニティ形成ー」	単著	2010年 (査読付き)	『アジア・アフリカ地域研究』第10-2号pp.220-256.		
「マブタプット工業団地の拡張をめぐる諸問題の現状と課題」	共著	2010年 (査読付き)	『水俣学研究』第3号 pp.83-103.	宮北隆志・花田昌宜・中地重治他	
「タイにおける労働災害の発生と被災者のリハビリテーション・職場復帰」	共著	2017年 (査読付き)	『社会関係』pp.53-96	宮北隆志・岩下 夏岐	
(その他)					

Ⅲ 学会等及び社会における主な活動

障害学会	
タイ学会	
東南アジア学会	